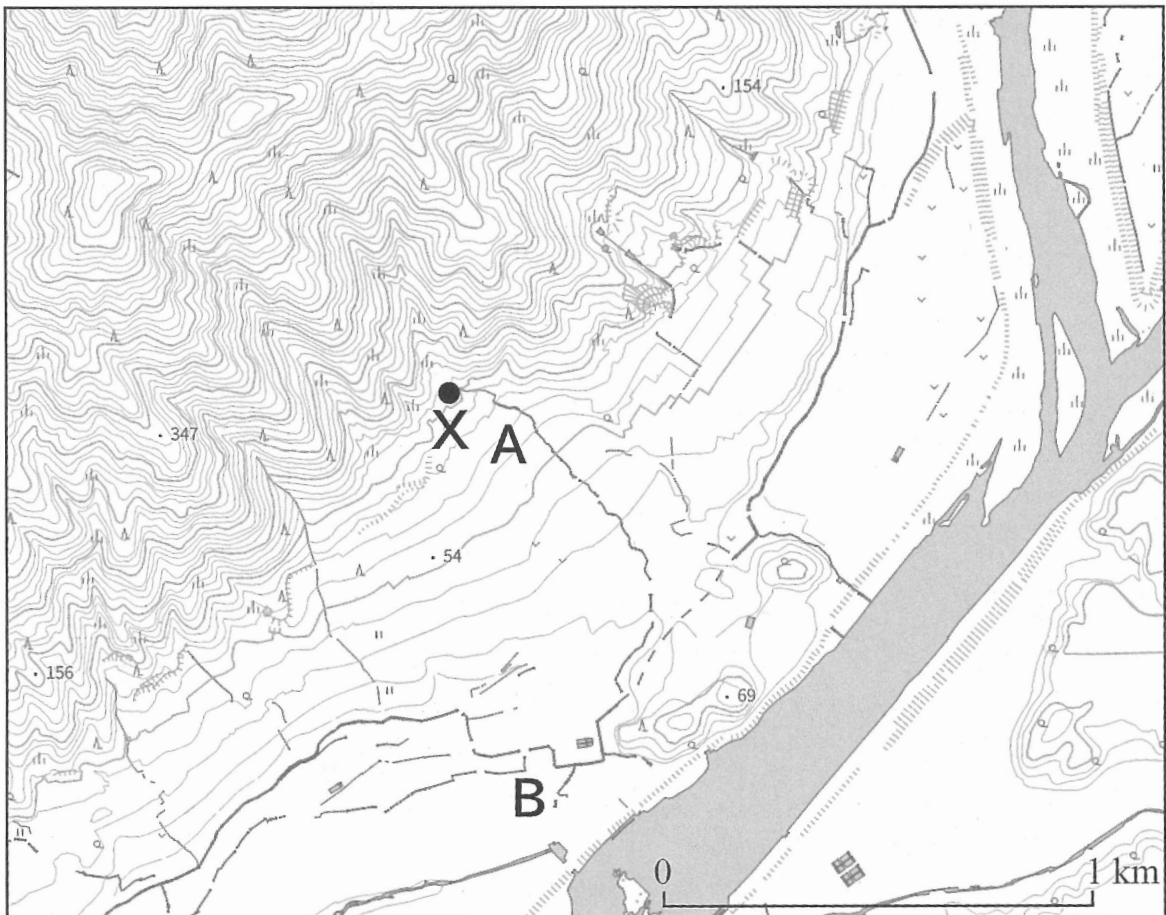


地理 問題 I

自然環境と地理情報に関する次の問1～2に答えなさい。

問1 次の図1は、過去に自然災害が発生した西日本のある地域について、地形図から等高線、河川・水域、および一部地形図記号等を抜き出して記載した地図である。この地域のハザードマップによれば、図中のAとB付近ではそれぞれ異なる種類の自然災害が想定されている。

図1に関して下の(1)～(3)に答えなさい。

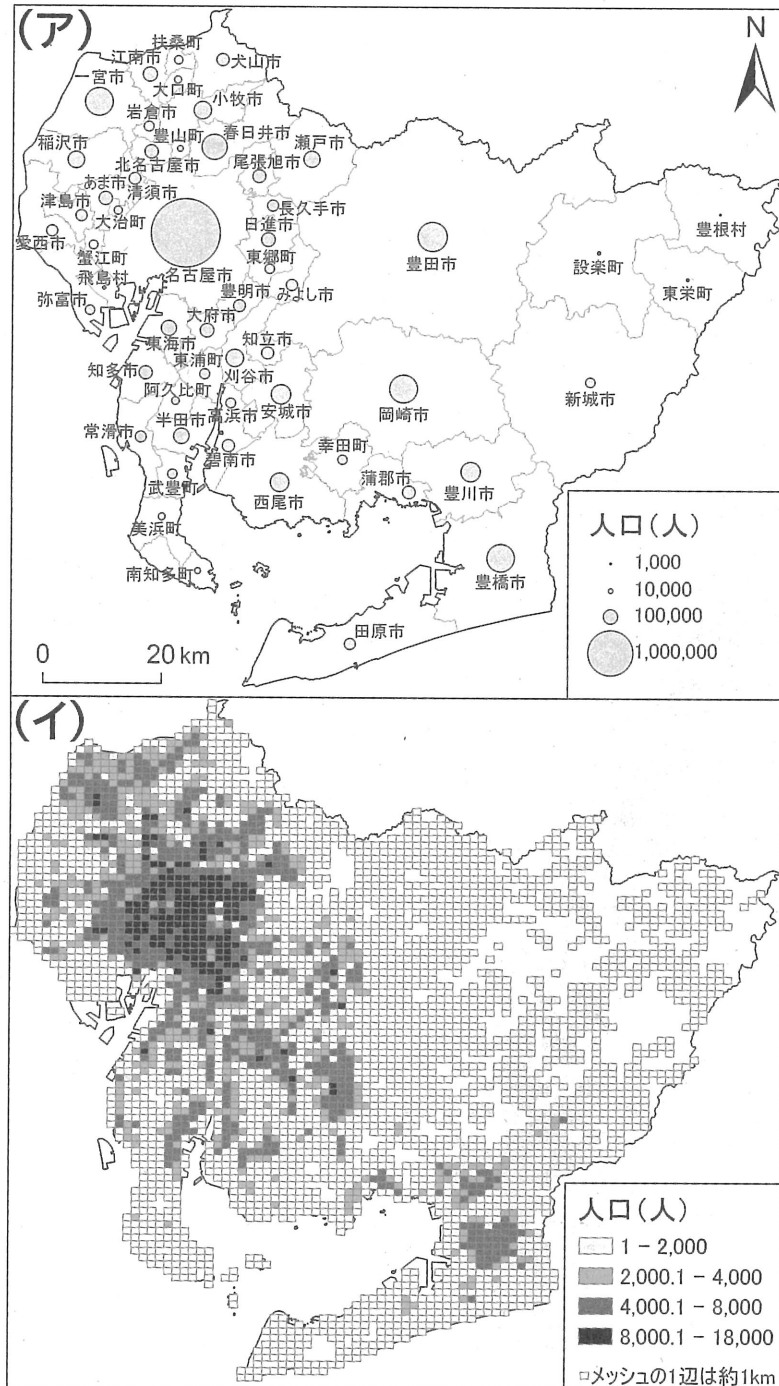


地理院地図を基に作成。

図1

- (1) AおよびB付近はどのような地形であるか，それぞれの名称を答えなさい。
- (2) AおよびB付近では，一般に，どのような時にどのような自然災害が発生しやすいと考えられるか，地形的特徴を踏まえてそれぞれ説明しなさい。
- (3) 降水が地点Xに流れ込む範囲(集水域)を，答案紙の地図に描きなさい。集水域を実線で囲み，内側を斜線で示すこと。

問 2 次の図2は、地理情報システム(GIS)で作成した愛知県人口分布を示した2つの統計地図である。これらの図に関して下の(1)~(2)に答えなさい。



2020年国勢調査および国土数値情報を基に作成。

図2

- (1) (ア)と(イ)はどのように人口分布を表現しているか，それぞれの表現方法を簡潔に説明しなさい。

- (2) (ア)と(イ)を相互に比較し，人口分布に関して読み取れる内容にどのような違いがあるかを説明しなさい。

地理 問題Ⅱ

産業に関する次の問1～5に答えなさい。

問1 次の図1は、米、小麦、トウモロコシの地域別生産量の比率を示したものである。図1から読み取れる、世界における三大穀物生産の地理的な特徴を述べなさい。

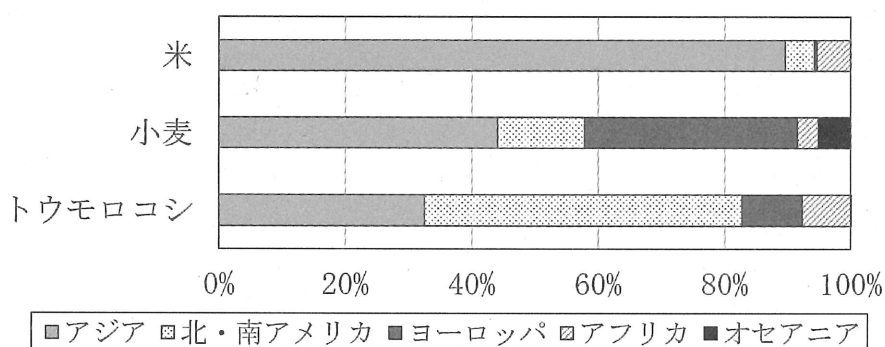


図1

FAOの資料により作成。年次は2023年。

問 2 次の図2は、日本における植物工場を都道府県別に示したものである。図2の内容を踏まえて、日本における植物工場の立地の特徴を説明しなさい。

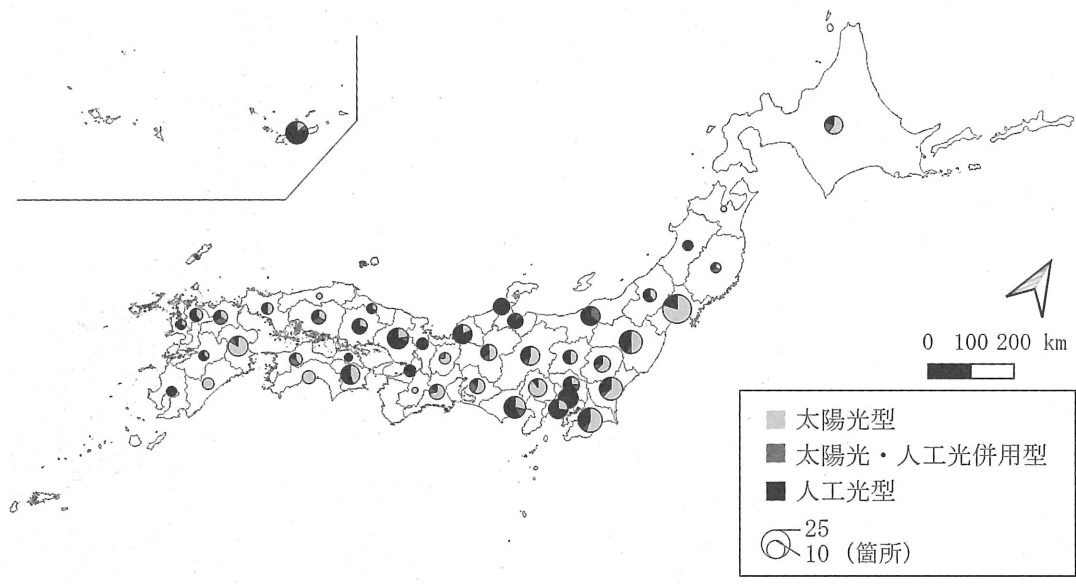


図2

一般社団法人日本施設園芸協会の調査により作成。年次は2022年。

問 3 次の図3は、日本の漁業生産量*の推移を示したものであり、図中のA～Cには沿岸漁業、遠洋漁業、沖合漁業のいずれかが該当する。図3に関する下の(1)～(3)に答えなさい。

*内水面漁業・養殖業および海面養殖業を除く。

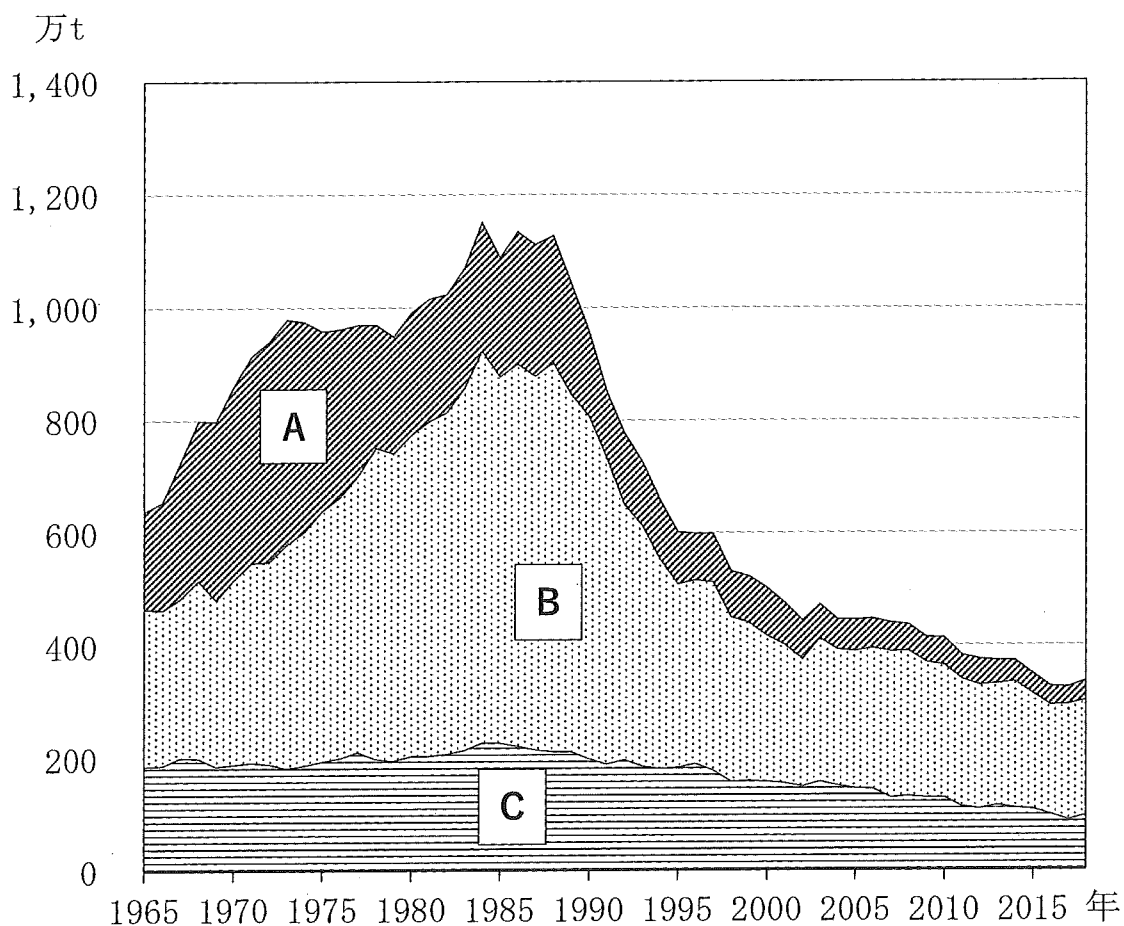


図3

2007年～2010年の沿岸漁業、遠洋漁業、沖合漁業の数値は推計値。

農林水産省の資料により作成。

- (1) A～Cに該当する漁業名として最も適切なものをそれぞれ答えなさい。
- (2) 日本の漁業従事者が最多である漁業として最も適切なものを、A～Cのうちから1つ選んで記号で答えなさい。
- (3) Aの漁獲量が1970年代以降に低下していった背景を説明しなさい。

問 4 次の図 4 は世界の漁業と養殖業の生産量の推移を、下の図 5 は主な国の漁業・養殖業の生産量の推移をそれぞれ示したものである。図 4 と図 5 から読み取れる、1990 年代以降の世界における漁業・養殖業の変化について説明しなさい。

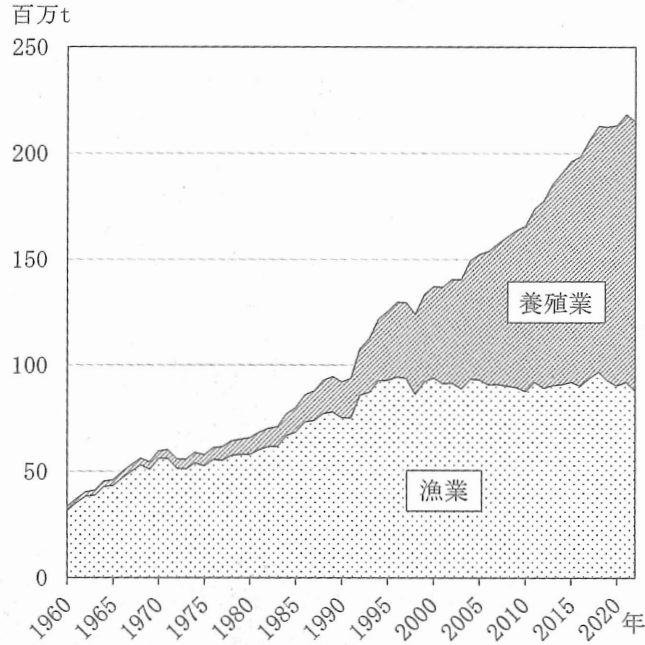


図 4

FAO の資料により作成。

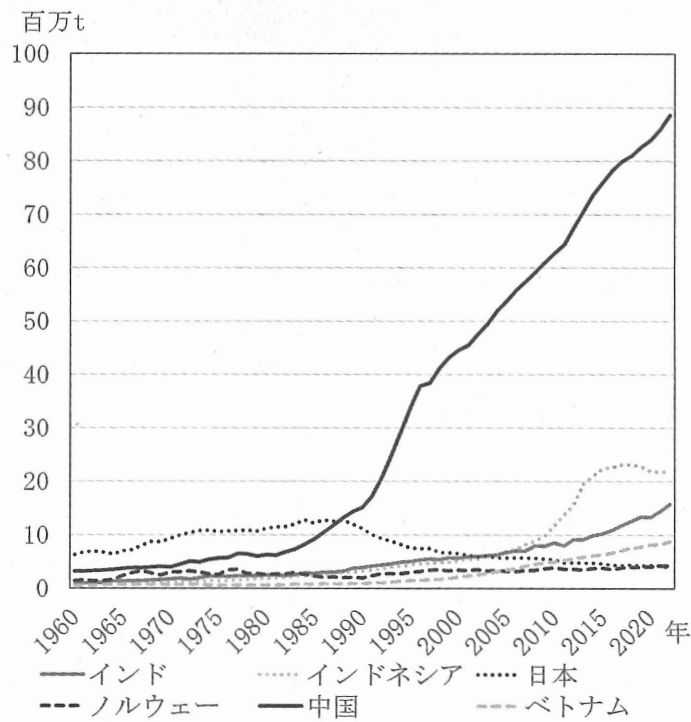


図 5

FAO の資料により作成。

問 5 近年、国連食糧農業機関(FAO)などがアグロフォレストリーの実施を推奨している。同様の取り組みは東南アジアの養殖業でもみられ、次の図6のように、沿岸地域の養殖池でマングローブの植林が行われる場合がある。このような取り組みを通じて得られる便益について説明しなさい。その際、以下の[]内の語をすべて用いて述べなさい。用いた箇所には下線を引くこと。

[侵食 生物多様性 生物の繁殖]

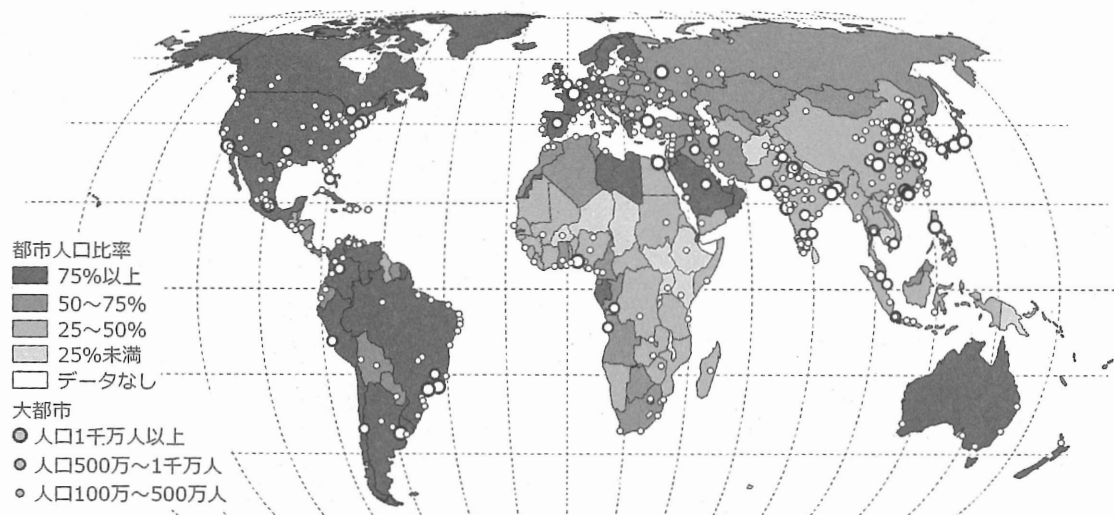


図6

地理 問題Ⅲ

都市に関する次の問1～3に答えなさい。

問1 次の図1は、世界における国・地域ごとの都市人口比率(都市化率)と、人口100万人以上の大都市を示したものである。また下の図2は、国・地域における都市化率と大都市の密度との関係について整理したものである。図2中のB～Dの類型に該当する国や地域をAにならって例示しつつ、A～Dのそれぞれの類型における大都市の分布の特徴とその背景について述べなさい。



注：World Urbanization Prospects により作成。統計年次は2010年。

図1

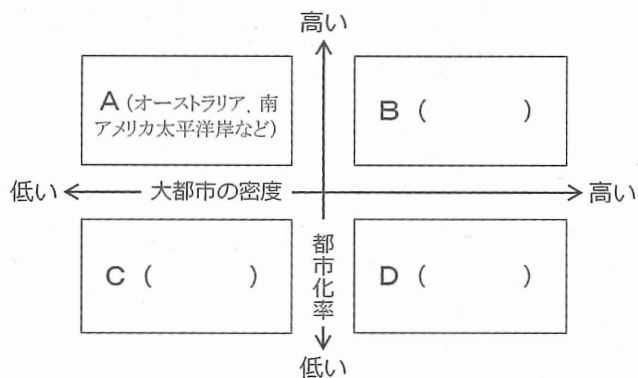
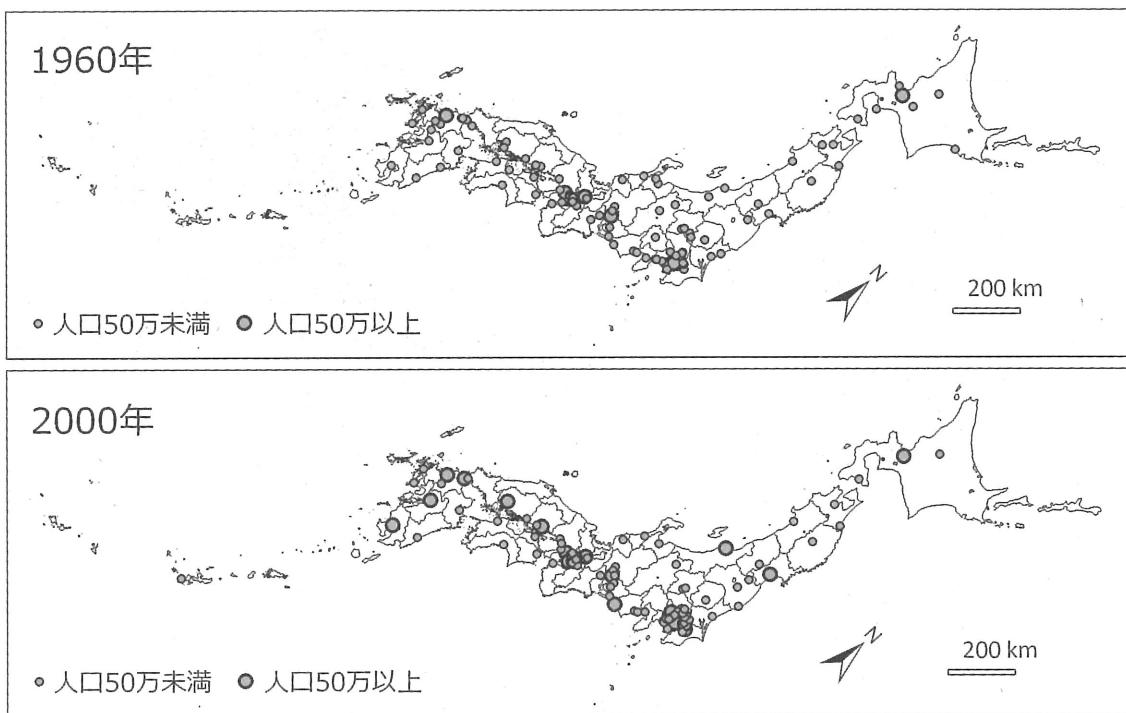


図2

問 2 次の図3は、日本における人口規模100位までの都市*の分布を、1960年**と2000年について示したものであり、各年次において100都市合計の人口が全国人口に占める割合は、それぞれ39%と47%である。この期間における日本の人口分布の変化について、図から読み取れることを述べなさい。

* 統計単位は市町村とし、東京特別区部は1都市として数えた。

** 1960年の数値は、沖縄県を除く。



注：国勢調査により作成。

図3

問 3 次の図 4 は、愛知県名古屋市の北東に隣接する春日井市における人口の年齢構造の推移(1955～1995年)を示したものである。春日井市には、日本を代表する大規模ニュータウンの高蔵寺ニュータウン(1968年に入居開始)が含まれる。図から読み取れる人口構成上の特徴について、そのような特徴になった要因と、この後 20 年ほどで生じた変化に触れながら述べなさい。

この部分につきましては、
著作権の都合により公開いたしません。

注：『図説 大都市圏』による(一部改変)。

図 4